

消防年報

令和元年

第 46 号

茨城町消防本部



町章

「茨」の文字を図案化したものです。鋭角は町の発展を表し、円は町の融和を象徴しています。

◎茨城町民憲章

わたくしたちは、美しい自然と、豊かな大地にはぐくまれて、限らない躍進をつづける茨城町の仲間です。美しく愛に満ちた郷土づくりに、責任と誇りをもって参加するため、ここに町民憲章を定めます。

1. ふるさとの自然を守り、美しい環境の町を作りましょう。
1. からだをきたえ、教養を高めて、健やかな町を作りましょう。
1. 隣人や家庭の愛を大切にして、真心の通い合う、町を作りましょう。
1. 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町を作りましょう。
1. 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町を作りましょう。

◆ 町の花 桜



◆ 町の木 梅



◆ 町の鳥 ウグイス



は し が き

本書は、茨城町消防の現勢及び平成30年1月1日から平成30年12月31日までの消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の資とするため、編集したものであります。

この統計は、平成30年12月末日現在をもって作成したものでありますが、これによらないものについては、それぞれ記載した年月日現在により作成したものであります。

令和元年6月

茨城町消防本部

目 次

茨 城 町 民 憲 章	1
は し が き	2
目 次	3
概 要	4
1. 茨城町の沿革	5
2. 町 勢	6
3. 茨城町消防の沿革	7
総 務	28
1. 組織及び機構	29
2. 消防本部，消防署事務分掌	30
3. 予 算 関 係	32
4. 職 員 関 係	33
5. 消 防 団 関 係	35
6. 機械装備関係	37
予 防	43
1. 危 険 物 関 係	44
2. 建築同意関係	46
3. 防火対象物関係	48
4. 諸 届 関 係	49
警 防	50
1. 火 災 関 係	51
2. 消防水利関係	55
3. 救 急 関 係	56
4. 気 象 関 係	60
5. 消防無線関係	61

概 要

1. 茨城町の沿革

本町は、今から約1600年前の古代縄文・弥生の時代から文化が発生し、国指定遺跡となった小幡北山埴輪製作遺跡のほか、宝塚古墳・上ノ山古墳などの遺跡を残しています。関東平野特有の平地林にかこまれ、静かな涸沼を抱えた本町は、首都圏の中でも自然的景観に恵まれた地域で、湖面9k㎡の涸沼は、淡水魚・海水魚の共生地、多くの野鳥、また、ヒヌマイトトンボの生息地として知られ、県立自然公園となっていて、平成27年5月にラムサール条約湿地に登録されました。

近世に入り、農業に適した肥沃な土地と交通の要所として発展を続け、昭和30年に長岡・川根・上野合・沼前の4ヶ村が合併して茨城町が誕生し、3年後の昭和33年に石崎村を編入合併し現在の町域となり、県下でも面積や人口規模では有数の町となっています。

また、昭和40年代に入り、国道6号バイパスの開通や都市計画区域の指定、市街化区域及び市街化調整区域（線引き）の指定がされるなど、着実な都市化の基盤づくりを進めてきました。

近年は北関東自動車道及び東関東自動車道の開通に伴い、茨城中央工業団地・茨城工業団地への企業進出が相次ぎ、都市機能と自然環境が調和した町が形成されつつあります。

2. 町 勢

(1) 町の位置及び面積



東経 140度27分 北緯 36度57分

東西 17.00km 南北 14.00km

海拔 20～31m

面積 121.64km²

(2) 人口の推移

単位：人

区分 年度	世帯数	人口		
		総数	男	女
平成27年度	12,551	33,609	16,753	16,856
平成28年度	12,664	33,385	16,648	16,737
平成29年度	11,449	32,389	15,973	16,416
平成30年度	12,914	32,759	16,396	16,363
平成31年度	13,032	32,483	16,260	16,223

3. 茨城町消防の沿革

昭和 30 年	2月 11 日, 町制施行により, 旧長岡村・川根村・上野合村・沼前村の消防団が統合し, 茨城町消防団を設置する。団員数 2,400 名 初代団長に木村健治氏, 就任する。
昭和 31 年	6月 消防団の機構改革が行われ, 支団制をとり 1 団 4 支団とし, 団員数1,800 名となる。
昭和 32 年	6月 三輪ポンプ自動車(チャイアント) 1台購入し, 駒場に配置する。
昭和 33 年	3月 旧石崎村が編入し, 5 支団となり団員数 2,154 名となる。 7月 四輪ポンプ自動車(ジープ) 1 台購入し, 下土師に配置する。
昭和 34 年	2月 三輪ポンプ自動車(チャイアント) 1 台購入し, 秋葉に配置する。 6月 消防団の機構改革が行われ支団制を廃止し, 分団制をとり1 団 34分団となり, 団員数 1,053 名となる。
昭和 35 年	1月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・野口ポンプ) 2 台購入し, 宮ヶ崎・中石崎に配置する。 2月 三輪ポンプ自動車(チャイアント) 1 台購入し, 長岡に配置する。 12月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・野口ポンプ) 1 台購入し, 小堤に配置する。
昭和 37 年	4月 消防団の機構改革が行われ, 分団を5分団にし, 部制をとり5分団15部とする。団に団本部員を置く。団員数1,008名となる。 9月 四輪ポンプ自動車 (ニッサン・日本機械) 2台購入し, 前田, 小幡に配置する。
昭和 38 年	6月 消防団の機構改革が行われ, 5分団20部制にし, いままで町消防団員とみなしていた自衛消防団員を分離する。 11月 四輪ポンプ自動車 (ニッサン・森田ポンプ) 1 台購入し, 下石崎に配置する。
昭和 39 年	9月 四輪ポンプ自動車 (ニッサン・森田ポンプ) 1 台購入し, 南川又に配置する。
昭和 40 年	5月 小型動力消防ポンプ付積載車 (トヨタ・ラビットポンプ) 1 台購入し野曾に配置する。 9月 消防団の機構改革が行われ団員数304名となる。 四輪ポンプ自動車 (ニッサン・森田ポンプ) 1 台購入し, 若宮に配置する。 12月 小型動力消防ポンプ付積載車 (トヨタ・トーハツポンプ) 1 台購入し下雨ヶ谷に配置する。
昭和 41 年	10月 四輪ポンプ自動車 (ニッサン・森田ポンプ) 1 台購入し, 小鶴に配置する。

昭和 42 年	3月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）1台購入し常井に配置する。 4月 清水源五氏消防団長に就任する。 10月 昼間時の消防力充実のため、役場消防隊を設置する。（隊員数18名で県立消防学校において4日間の訓練を受ける。）ポンプは、第4分団第1部（小堤）のものを使用する。 四輪ポンプ自動車（ニッサン・森田ポンプ）1台購入し、秋葉に配置する。
昭和 43 年	6月 消防団の機構改革が行われ団員数311名となる。 11月 水槽付消防ポンプ自動車（トヨタ・森田ポンプ）水量1,700リットル1台購入し、役場消防隊に配置する。
昭和 44 年	4月 救急業務を実施する。 6月 消防団の機構改革が行われ団員数331名となる。 8月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）2台購入し、海老沢、上石崎に配置する。
昭和 45 年	3月 救急自動車（ニッサン）購入する。 5月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）2台購入し、駒場、鳥羽田に配置する。
昭和 46 年	4月 荻津正夫氏消防団長に就任する。 8月 四輪ポンプ自動車（ニッサン・森田ポンプ）1台購入し、下土師に配置する。 9月 消防本部（署）設置の要望書を県に提出する。 11月 石崎正氏消防団長に就任する。 12月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車1台購入し、役場消防隊に配置する。前使用の水槽付消防ポンプ自動車は長岡に配置する。
昭和 47 年	2月 東茨城郡消防総合演習開催される。 4月 消防本部（署）設置の政令指定を受ける。 消防吏員8名採用する。 7月 消防吏員12名採用する。 9月 水戸市消防本部より、消防司令1名（坂場鶴吉氏）派遣を受ける。 消防吏員1名採用する。 10月 消防本部（署）職員24名で役場2階（仮庁舎）において、業務を開始する。（水槽付消防ポンプ自動車1・救急自動車1） 荻津正夫氏, 消防長事務取扱に就任する。 坂場鶴吉氏, 次長兼署長に就任する。 役場消防隊を解散する。

	11月 消防吏員1名採用し, 25名となる。 奥谷地内に消防庁舎の新築工事始まる。 (総工費53, 500, 000円・鉄筋コンクリート2階建) 第1回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 <table><tr><td>自動車ポンプの部</td><td>優 勝</td><td>第2分団第1部</td><td>(下土師)</td></tr><tr><td></td><td>準優勝</td><td>第3分団第3部</td><td>(小幡)</td></tr><tr><td>小型ポンプの部</td><td>優 勝</td><td>第4分団第2部</td><td>(駒場)</td></tr><tr><td></td><td>準優勝</td><td>第2分団第2部</td><td>(野曽)</td></tr></table> 指令車, 広報車購入する。 12月 消防吏員1名採用し, 26名となる。 消防ポンプ自動車 (BSー I 型) 2台購入し, 消防署, 第3分団第2部 (鳥羽田) に配置する。鳥羽田の前使用の小型動力ポンプ付積載車は奥谷に配置する。 消防用超短波無線 (日本無線JHV214) 設置する。 (基地局1・移動局2・携帯局6)	自動車ポンプの部	優 勝	第2分団第1部	(下土師)		準優勝	第3分団第3部	(小幡)	小型ポンプの部	優 勝	第4分団第2部	(駒場)		準優勝	第2分団第2部	(野曽)
自動車ポンプの部	優 勝	第2分団第1部	(下土師)														
	準優勝	第3分団第3部	(小幡)														
小型ポンプの部	優 勝	第4分団第2部	(駒場)														
	準優勝	第2分団第2部	(野曽)														
昭和 48 年	2月 消防用超短波無線 (JHV214) 2基設置する。(ポンプ自動車, 広報車に装備) 防火水槽 (40m³級) 5基設置する。(長岡・千勝・生井沢・駒場・船渡地内) 4月 消防吏員3人採用し, 29名となる。 消防団の機構改革が行われ, 団員数283名となる。団本部に庶務班消防班を置く。 7月 消防庁舎が完成し, 新庁舎へ移転する。 9月 小型動力消防ポンプ付積載車1台購入し, 第1分団第3部 (常井) に配置する。 新築消防庁舎の竣工式を挙げる。 11月 第2回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 <table><tr><td>自動車ポンプの部</td><td>優 勝</td><td>第2分団第1部</td><td>(下土師)</td></tr><tr><td></td><td>準優勝</td><td>第5分団第3部</td><td>(下石崎)</td></tr><tr><td>小型ポンプの部</td><td>優 勝</td><td>第2分団第2部</td><td>(野曽)</td></tr><tr><td></td><td>準優勝</td><td>第1分団第3部</td><td>(常井)</td></tr></table> 12月 小型動力消防ポンプを購入し, 消防署に配置する。	自動車ポンプの部	優 勝	第2分団第1部	(下土師)		準優勝	第5分団第3部	(下石崎)	小型ポンプの部	優 勝	第2分団第2部	(野曽)		準優勝	第1分団第3部	(常井)
自動車ポンプの部	優 勝	第2分団第1部	(下土師)														
	準優勝	第5分団第3部	(下石崎)														
小型ポンプの部	優 勝	第2分団第2部	(野曽)														
	準優勝	第1分団第3部	(常井)														
昭和 49 年	1月 消防吏員1名採用し, 30名となる。 3月 第24回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 <table><tr><td>自動車ポンプの部</td><td>優勝</td><td>第2分団第1部</td><td>(下土師)</td></tr><tr><td>小型ポンプの部</td><td>優勝</td><td>第2分団第2部</td><td>(野曽)</td></tr></table> 防火水槽 (40m³級) 3基 (木部・海老沢・中石崎) 設置する。	自動車ポンプの部	優勝	第2分団第1部	(下土師)	小型ポンプの部	優勝	第2分団第2部	(野曽)								
自動車ポンプの部	優勝	第2分団第1部	(下土師)														
小型ポンプの部	優勝	第2分団第2部	(野曽)														

	4月 水戸市より派遣の次長兼署長，坂場鶴吉氏帰任する。 佐藤義男氏，次長兼署長に就任する。 消防吏員1名役場へ配置替えとなる。 消防吏員3名採用する。 7月 消防吏員 1 名退職する。 9月 小型動力消防ポンプ付積載車1台購入し，第3分団第4部（下雨ヶ谷）に配置する。前使用のポンプは，自衛消防団（神宿）に，自動車は消防署に配置する。 関東ブロック消防救助技術大会が横浜市で開催され，茨城県代表として署員1名が参加する。 10月 副士長6名を任用する。 第29回国民体育大会ピストル競技場（県警察学校）の警備を実施する。 11月 消防吏員 1 名退職する。
昭和 50 年	3月 第25回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 3位 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 準優勝 第1分団第3部（常井） 石崎正氏，消防団長退団する。 4月 黒崎富弥氏，消防団長に就任する。 消防吏員1名役場へ配置替えとなる。 消防吏員6名採用する。 8月 国庫補助事業により，消防ポンプ自動車（BS－I 型）購入し，第4分団第3部（宮ヶ崎）に配置する。 9月 防火水槽（40m³級）3基設置する。（矢頭・駒場・神宿） 11月 電源立地促進対策事業により，消防ポンプ自動車（BS－I 型）2台購入し，第5分団第1部（中石崎），消防署に配置する。 第3回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部 （下土師） 準優勝 第3分団第3部 （小幡） 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部 （常井） 準優勝 第2分団第2部 （野曾） 12月 第26回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 優勝 第1分団第3部（常井）
昭和 51 年	4月 消防団機構改革により，団員数270名，部数19部となる。 第4分団第1部（小堤）廃止となる。 消防署使用の小型動力ポンプを自衛消防団（小堤）に配置する。

	7月 消防署予備ポンプ車を第1分団第2部（前田）に配置する。 9月 防火水槽（40m³級）5基（小鶴・南川又・神谷・鳥羽田・網掛）設置する。 10月 電源立地促進対策事業により，消防ポンプ自動車（BS－I型）2台購入し，第3分団第3部（小幡），第5分団第3部（下石崎）に配置する。 11月 電源立地促進対策事業により，消防署に救急自動車購入する。
昭和 52 年	3月 第27回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 準優勝 第2分団第2部（野曽） 4月 消防吏員4名採用する。 5月 消防吏員1名退職する。 8月 防火水槽（40m³級）4基（宮ヶ崎・植農・近藤・東永寺）設置する。 11月 消防吏員1名退職する。 12月 小型動力消防ポンプを購入し，消防署に配置する。 第28回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 準優勝 第1分団第1部（長岡） 小型ポンプの部 優勝 第5分団第3部（下石崎）
昭和 53 年	3月 自治体消防30周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 4月 司令補1名，士長4名任用する。 消防吏員5名採用する。 小型動力消防ポンプ積載車を購入し，第2分団第2部（野曽）に配置する。 10月 副士長6名任用する。 国庫補助事業により，水槽付消防ポンプ自動車を購入し，消防署に配置する。 防火水槽（40m³級）5基（矢頭・長岡・越安・大山原・下土師）設置する。 下石崎水防倉庫（這坂）老朽化に伴い，下石崎「秋の月町営駐車場」に移転する。 11月 第4回茨城町消防団ポンプ操法大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部（下土師） 準優勝 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第1分団第3部（常井） 12月 第29回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 3位 第2分団第1部（下土師）

		小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 消防署使用水槽付消防ポンプ自動車（46年車）を長岡に配置する。 消防用超短波無線（10w）2基（指令車・予備救急車へ装備）設置する。
昭和 54 年	3月 黒崎富弥氏, 消防団長退任する。 関根利雄氏, 消防団長代理に就任する。 荻津正夫氏, 消防長事務取扱退任する。 皆川弘次氏, 消防長事務取扱に就任する。 広報車を購入する。 4月 関根利雄氏, 消防団長に就任する。 8月 指令車を更新する。 第1回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会を開催し、19チーム参加する。 11月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD－I 型）を1台購入し、第4分団第4部（海老沢）に配置する。旧車両に積載の小型動力消防ポンプを署が保管する。 12月 第30回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 第3位 第1分団第3部（常井） 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）6基（秋葉・小幡・前田・宮ヶ崎・野曽・飯塚）設置する。	
昭和 55 年	3月 防火水槽（40m³級）1基設置する。（秋葉） 4月 小型動力消防ポンプを購入し、第2分団第2部（野曽）に配置する。 5月 署保管の小型動力消防ポンプを自衛消防（馬渡）に配置する。 7月 救急自動車（2B型）を購入する。 皆川弘次氏, 消防長事務取扱退任する。 8月 佐藤義男氏, 消防長に就任する。 救急自動車2台運用開始する。 消防連絡車を購入する。 第2回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会を開催し、20チーム参加する。 11月 第5回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 12月 第31回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽）	

		国庫補助事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基（奥谷・海老沢・下石崎・中石崎・下雨ヶ谷），（20m ³ 級）1基（宮ヶ崎）設置する。
昭和 56 年	8月	第3回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BS－I 型）1台を購入し第2分団第3部（南川又）に配置する。
	10月	国庫補助事業により、防火水槽（40m ³ 級）3基（長岡・下土師・木部）設置する。
	12月	第32回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 準優勝 第1分団第3部（常井）
昭和 57 年	6月	役場町長公室秘書係長坂場昭廣氏, 署次席兼総務係長に就任する。
	8月	第4回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	防衛庁基地対策事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基（神谷・城之内・宮ヶ崎・飯塚・中石崎）設置する。 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD－I 型・BS－I 型）2台を購入し、消防署及び第5分団第4部（若宮）に配置する。 第6回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曾）
	10月	第33回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 準優勝 第2分団第2部（野曾）
昭和 58 年	7月	関東地区救助技術大会ロープ応用登はんの部に署員2名参加する。 （開催地 埼玉県立消防学校）
	8月	第5回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BS－I 型）1台を購入し第1分団第4部（小鶴）に配置する。
	11月	第34回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 準優勝 第4分団第2部（駒場）
昭和 59 年	2月	国庫補助事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基（奥谷・大山原・長岡・矢連・上飯沼南部）設置する。
	4月	本部組織の改革により、5係とする。 司令補2名、士長4名、副士長6名任用する。
	8月	第6回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	第7回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第1分団第4部（小鶴）

	準優勝 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第1分団第3部（常井） 10月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（BS-I型）1台購入し、第3分団第1部（秋葉）に配置する。 第35回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催する。 （茨城町当番） 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 12月 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）3基（小堤・宮ヶ崎・南島田）単独事業により、2基（下土師・小鶴）設置する。
昭和 60 年	4月 本部組織の改革により、5係から4係とする。 8月 第7回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急自動車（2B型）を購入する。 10月 第36回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井）
昭和 61 年	2月 茨城町消防団が優良消防団として、日本消防協会から竿頭綬を授与される。 3月 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）5基（上飯沼・南川又・蕎麦原・長岡・中丸原）単独事業により、1基（大畑）設置する。 電源立地促進対策事業により、小型全自動消防ポンプ付積載車2台を購入し、第4分団第2部（駒場）、第5分団第2部（上石崎）に配置する。 佐藤義男氏, 消防長退任する。 4月 坂場昭廣氏, 消防長に就任する。 消防吏員 1 名採用する。 8月 第8回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第8回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第1分団第3部（常井） 準優勝 第2分団第4部（奥谷） 11月 第37回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 5位入賞 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優勝 第1分団第3部（常井） 12月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、第1

	分団第1部（長岡）に配置する。 防災まちづくり事業により，防火水槽（40m³級）5基（秋葉・城之内・宮ヶ崎・中石崎・下石崎後谷）設置する。
昭和 62 年	2月 消防吏員1名退職する。 3月 防災まちづくり事業により，コミュニティー消防センターを第1分団第1部（長岡）に新築する。 4月 本部組織の改革により，4係から5係とする。 司令1名，司令補2名，士長2名，副士長7名任用する。 茨城県消防長会定例総会開催する。 （開催地 茨城町 場所 松星苑） 消防吏員1名役場に配置替えになる。 7月 副士長4名任用する。 8月 第9回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 消防吏員1名退職する。 11月 第38回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第4部（奥谷） 12月 防災まちづくり事業により，小型動力消防ポンプ付積載車を購入し，第2分団第4部（奥谷）に配置する。 国庫補助事業により，消防ポンプ自動車（BD－Ⅰ型）を購入し，第2分団第1部（下土師）に配置する。 防災まちづくり事業により，防火水槽（40m³級）5基（矢頭・常井・下飯沼・古宿・生井沢）設置する。
昭和 63 年	3月 防災まちづくり事業により，コミュニティー消防センターを第2分団第1部（下土師）に新築する。 県単独補助事業により，救急自動車（2B型）を購入する。 4月 副士長1名任用する。 消防吏員2名採用する。 事務職員1名役場より出向 5月 茨城町総合水害防災訓練を実施する。 8月 第10回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会，消防署が加わり21チームで開催する。 9月 第9回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第5分団第2部（上石崎）

	10月 第39回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 11月 自治体消防制度40周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会開催される。 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BD－Ⅰ型）を購入し、第3分団第2部（鳥羽田）に配置する。 査察広報車購入する。
平成 元 年	2月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第3分団第2部（鳥羽田）と、第5分団第3部（下石崎）に新築する。 3月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基（植農・三島・宮ヶ崎・網掛・神宿・神谷・小鶴）設置する。 4月 副士長1名任用する。 5月 消防吏員1名退職する。 7月 消防本部指令車を購入する。 8月 第11回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第40回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 12月 防災まちづくり事業により、小型動力消防ポンプ付積載車を購入し、第1分団第3部（常井）に配置する。
平成 2 年	1月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基（長岡・大畑・南川又・下飯沼・越安・宮ヶ崎・野曽）設置する。 2月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置する。 3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第1分団第3部（常井），第3分団第3部（小幡）に新築する。 防災まちづくり事業により、水防倉庫（海老沢）を改築する。 4月 消防司令補2名，士長4名，副士長3名任用する。 消防吏員2名採用する。 消防事務職員1名役場に配置替えになる。 8月 第12回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 連絡車を購入する。 第10回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第2分団第1部（下土師）

	小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第5分団第2部（上石崎） 10月 第41回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 消防吏員1名役場に配置換えになる。 12月 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、第4分団第3部（宮ヶ崎）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基（木部・小鶴・小幡・小堤（2基）・船渡・下石崎台）設置する。 防災まちづくり事業により、小型動力ポンプ付積載車を購入し、第3分団第4部（下雨ヶ谷）に配置する。
平成 3 年	3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第3分団第1部（秋葉）、第4分団3部（宮ヶ崎）に新築する。 防災まちづくり事業により、水防倉庫を上石崎に新築する。 4月 消防吏員1名採用する。 8月 第13回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第42回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 12月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、第5分団第1部（中石崎）に配置する。
平成 4 年	3月 庁舎車庫の一部を通信指令室に改修する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）6基（若宮・網掛・駒場・下石崎・南川又・前田）設置する。 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第2分団第2部（野曽）、第5分団第1部（中石崎）に新築する。 4月 本部組織改革により、3課7係とする。 消防吏員1名採用する。 役場事務職員1名消防に配置換えになる。 消防吏員3名役場に配置替えになる。 8月 第14回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 関東地方建設局道路地震防火訓練開催される。 9月 第11回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 優勝 第1分団第3部（常井）

	準優勝 第2分団第2部（野曽） 10月 第43回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井） 茨城県消防長会役員会を「ひぬま荘」で開催する。 11月 火災予防運動「火の用心」広報駅伝実施する。 (消防本部・消防署・消防団)
平成 5 年	3月 消防緊急通信指令施設完成し、運用開始する。 県費補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、第1分団第2部（前田）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）6基（野曽・神宿・下土師・新興・若宮・大戸）設置する。 防災まちづくり事業により、コミュニティ消防センターを第2分団第3部（南川又）、第5分団第2部（上石崎）に新築する。 坂場昭廣氏, 消防長退任する。 4月 上田三郎氏, 消防長に就任する。 消防司令補1名, 士長9名, 副士長2名任用する。 消防吏員2名採用する。 8月 第15回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第44回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽）
平成 6 年	3月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基（小幡・上飯沼南部・木部・下座・前原・前谷・新興）設置する。 防災まちづくり事業により、コミュニティ消防センターを第3分団第4部（下雨ヶ谷）、第5分団第4部（若宮）に新築する。 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、第3分団第3部（小幡）に配置する。 4月 消防吏員2名採用する。 消防司令4名任用する。 消防吏員1名役場に配置換えになる。 8月 第16回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第12回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部（駒場） 準優勝 第1分団第3部（常井）

	10月	第45回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第4分団第2部（駒場）
平成 7 年	3月	防災まちづくり事業により，防火水槽（40m ³ 級）5基（上雨ヶ谷・木部西部・飯塚・下土師・古宿）設置する。 防災まちづくり事業により，コミュニティー消防センターを第1分団第4部（小鶴），第2分団第4部（奥谷）に新築する。 防衛庁基地対策事業により，消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し，第5分団第3部（下石崎）に配置する。
	4月	中村清文氏，消防署長に就任する。 消防司令補4名，士長6名，副士長2名任用する。 消防吏員1名採用する。 消防吏員1名役場に配置換えになる。
	8月	第17回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。
	10月	第46回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井）
	11月	国庫補助事業により，高規格救急自動車を購入し，消防署に配置する。
平成 8 年	3月	防災まちづくり事業により，防火水槽（40m ³ 級）5基（南川又・駒場・駒渡・野曽後谷・船渡）設置する。
	7月	救急救命士1名任命する。
	8月	第18回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	第13回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部（駒場） 準優勝 第5分団第2部（上石崎）
	10月	第47回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部（駒場）
	12月	消防吏員1名退職する。
平成 9 年	1月	救急救命士1名任命する。
	3月	防衛庁基地対策事業により，消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し，消防署に配置する。 防災まちづくり事業により，防火水槽（40m ³ 級）5基（下雨ヶ谷・前原・中石崎・網掛・南川又）設置する。 関根利雄氏，消防団長退団する。

	上田三郎消防長, 役場に帰任する。 4月 浅野俊幸氏, 消防団長に就任する。 郡司和幸氏, 消防長事務取扱に就任する。 中村清文氏, 消防次長に就任する。 消防司令長1名, 消防司令補5名, 士長2名, 副士長5名任用する。 消防団各車輛に団専用波無線機を配置する。 7月 消防士長2名任用する。 8月 消防吏員2名採用する。 第19回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第48回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部 (小鶴) 小型ポンプの部 第5分団第2部 (上石崎) 12月 救急救命士1名任命する。
平成 10 年	2月 防災まちづくり事業により, 防火水槽 (40m³級) 3基 (上雨ヶ谷・海老沢・飯塚) 設置する。 3月 消防吏員2名退職する。 4月 消防吏員2名採用する。 消防司令補4名任用する。 8月 第20回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第14回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第2分団第1部 (下土師) 準優勝 第1分団第4部 (小鶴) 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部 (駒場) 準優勝 第5分団第2部 (上石崎) 防災まちづくり事業により, 防火水槽 (40m³級) 2基 (南栗崎・前谷) 設置する。 10月 第49回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部 (下土師) 小型ポンプの部 第4分団第2部 (駒場) 12月 防衛庁基地対策事業により, 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を購入し, 第4分団第4部 (海老沢) に配置する。
平成 11 年	2月 茨城町消防団優良消防団として, 日本消防協会から表彰旗を授与される。 3月 郡司和幸氏, 消防長事務取扱退任する。 4月 木村睦氏, 消防長事務取扱に就任する。 消防司令補3名, 消防士長1名, 消防副士長2名任用する。 8月 第21回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。

	9月 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）2台を購入し第2分団第3部（南川又）、第5分団第4部（若宮）に配置する。 10月 第50回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 木村睦氏消防長事務取扱退任する。 11月 役場生涯学習課長宮部秀雄氏消防長に就任する。 12月 救急救命士1名任命する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）1基（古宿）設置する。
平成 12 年	3月 北関東自動車道で消防訓練を実施する。 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第4分団第2部（駒場）に新築する。 4月 消防副士長1名を任用する。 8月 第22回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 茨城県消防長会定例総会を「いこいの村涸沼」で開催する。 第51回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第1部（中石崎）
平成 13 年	1月 事務職員1名役場より出向する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）2基（下飯沼・若宮）設置する。 3月 防衛庁基地対策事業により、救助工作車を購入し、消防署に配置する。 浅野俊幸氏、消防団長退任する。 4月 山西忠氏、消防団長に就任する。 事務職員1名役場より出向する。 消防副士長3名任用する。 消防団員条例定数を285名として、新たに女性消防団員15名が入団する。 8月 第23回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第52回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 小型ポンプの部 第3分団第4部（下雨ヶ谷）
平成 14 年	3月 防災基盤整備事業により、防火水槽（40m³級）2基（近藤・宮ヶ崎）設置する。 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）を2台購入し第1分団第4部（小鶴）、第3分団第1部（秋葉）に配置する。 4月 事務職員1名役場に出向する。

	茨城県防災航空隊に消防吏員1名派遣する。 消防司令2名，消防司令補1名，消防士長2名，消防副士長2名任用する。 8月 第24回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 救急救命士1名任命する。 10月 第53回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部（駒場）
平成 15 年	2月 防災基盤整備事業により，防火水槽（40m³級）2基（大戸・上石崎）設置する。 国庫補助事業により，2B型救急自動車を高規格救急自動車に更新し消防署に配置する。 3月 宮部秀雄氏，消防長退任する。 4月 中村清文氏，消防長に就任する。 長谷川修仁氏消防次長兼署長に就任する。 消防司令長1名，消防司令1名，消防士長3名任用する。 事務職員1名役場へ出向する。 消防吏員1名採用する。 5月 茨城町危険物安全協会設立30周年記念により，広報車が寄贈され消防本部に配置する。 8月 第25回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第54回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団 11月 消防吏員1名退職する。
平成 16 年	2月 防災基盤整備事業により，防火水槽（40m³級）2基（鳥羽田・木部）設置する。 3月 電源立地交付金事業により，小型動力ポンプ付積載車を購入し，第4分団第2部（駒場），第5分団第2部（上石崎）に配置する。 消防吏員1名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 5月 消防吏員1名退職する。 8月 第26回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第55回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団 12月 町単独事業により，防火水槽（40m³級）1基（上石崎）設置する。
平成 17 年	1月 救急救命士1名任命する。 3月 山西忠氏，消防団長退任する。 4月 皆川重孝氏，消防団長に就任する。

	消防司令長1名，消防士長1名任用する。 8月 第27回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第56回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 準優勝 第1分団第1部（長岡）
平成 18 年	3月 消防吏員1名退職する。 4月 消防吏員1名採用する。 消防司令補2名，消防士長2名任用する。 8月 第28回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第57回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団
平成 19 年	3月 皆川重孝氏，消防団長退団する。 消防吏員2名退職する。 4月 郡司冽氏，消防団長に就任する。 消防吏員2名採用する。 消防司令長2名，消防司令6名，消防司令補3名任用する。 8月 第29回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催される。 10月 第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第4部（海老沢）
平成 20 年	2月 百里基地周辺消防施設設置助成事業により，水槽付消防ポンプ自動車を購入し，消防署に配置する。 3月 リサイクル研究開発促進交付金事業により，高規格救急自動車を購入し，消防署に配置する。 4月 消防吏員1名採用する。 6月 再編交付金事業により，小型動力消防ポンプ（C－1級）を3台購入し，本郷区，昭和区，飯塚区に配置する。 8月 第30回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 10月 自治体消防制度60周年記念茨城県大会において，茨城県知事より，市町村優良機関として茨城町消防団が表彰される。 12月 再編交付金事業により，消防ポンプ自動車（CD－I型）を購入し，第1分団第1部（長岡），第3分団第2部（鳥羽田）に配置する。
平成 21 年	1月 再編交付金事業により，小型動力消防ポンプ（C－1級）を3台購入し，宮ヶ崎第四区，宮ヶ崎第六区，神谷区に配置する。 3月 再編交付金事業により，消防ポンプ自動車（CD－I型）を購入し，第4分団第3部（宮ヶ崎）に配置すると共に，第4分団第4部（海老沢）に，海老沢地区消防機具庫を新築する。

	中村清文氏, 消防長退任する。 郡司冽氏, 消防団長退任する。 消防吏員4名退職する。 4月 長谷川修仁氏, 消防長に就任する。 井坂正次氏, 消防次長兼署長に就任する。 長洲良男氏, 消防団長に就任する。 消防吏員3名採用する。 7月 救急救命士1名任命する。 8月 第31回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 第5分団第4部（若宮） 10月 再編交付金事業により, 小型動力消防ポンプ（C-1級）を購入し, 網掛区に配置する。 11月 再編交付金事業により, 消防指揮車を購入する。 12月 救急救命士1名任命する。
平成 22 年	2月 再編交付金事業により, 消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し 第2分団第1部（下土師）に配置する。 3月 長谷川修仁氏, 消防長退任する。 4月 井坂正次氏, 消防長に就任する。 中村誠氏, 消防次長兼署長に就任する。 消防吏員2名採用する。 8月 第32回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急救命士1名任命する。 10月 第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴）
平成 23 年	3月 東日本大震災が発生し, 災害対策本部が設置される。 消防庁舎が被災する。 井坂正次氏, 消防長退任する。 消防吏員2名退職する。 4月 中村誠氏, 消防長に就任する。 木村好文氏, 消防次長兼署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 5月 仮庁舎として, 健康福祉センターゆうゆう館で業務を開始する。 8月 第33回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団
平成 24 年	2月 再編交付金事業により, 消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し

	第5分団第1部（中石崎）に配置する。 3月 消防吏員3名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 嘱託職員4名採用する。 消防吏員1名退職する。 緊急消防援助隊救急部隊に救急小隊1隊登録する。 茨城県立消防学校に消防吏員1名派遣する。 8月 第34回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団
平成 25 年	2月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し第1分団第2部（前田）に配置する。 3月 茨城町消防本部・消防団が優良本部・団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 中村誠氏, 消防長退任する。 消防吏員1名退職する。 嘱託職員4名退職する。 消防庁舎完成し、竣工式を挙げる。 4月 木村好文氏, 消防長に就任する。 海老澤忠信氏, 次長兼消防署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 8月 第35回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第3部（宮ヶ崎）
平成 26 年	1月 平成25年度茨城県消防長会予防部会を「いこいの村涸沼」で開催する。 3月 再編交付金事業により、小型動力付ポンプ積載車を2台購入し第1分団第3部（常井）及び第2分団第4部（奥谷）に配置する。 消防吏員3名退職する。 茨城県立消防学校から消防吏員1名帰任する。 4月 消防吏員5名採用する。 茨城県防災航空隊に消防吏員1名派遣する。 8月 第36回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団 12月 救急救命士1名任命する。
平成 27 年	1月 平成26年度茨城県消防長会予防部会を「いこいの村涸沼」で開

	催する。 2月 再編交付金事業により、防災広報車を購入し、本部に配置する。 3月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、第2分団第2部（野曽）に配置する。 救急救命士1名任命する。 木村好文氏、消防長退任する。 長洲良男氏、消防団長退任する。 4月 海老澤忠信氏、消防長に就任する。 松本清次氏、消防団長に就任する。 塙隆一氏、次長兼消防署長に就任する。 消防吏員1名採用する。嘱託職員1名採用する。 8月 第37回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急救命士1名任命する。 消防吏員1名退職する。 10月 第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部（4位入賞） 第1分団 12月 いばらき消防指令センターに消防吏員1名派遣する。 消防無線アナログ波（150MHZ帯）からデジタル波（260MHZ帯）に切替。
平成 28 年	3月 再編交付金事業により、小型動力付ポンプ積載車を1台購入し第3分団第4部（下雨ヶ谷）に配置する。 百里基地周辺消防施設設置助成事業により、高規格救急自動車1台を購入し、消防署に配置する。 消防吏員2名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 機能別団員制度の制定により機能別消防団10名制定し、条例定数295名となる。 6月 機能別消防団10名任命し、消防団員295名となる。 第43回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で優勝する。 7月 第45回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 神奈川県消防学校） 消防吏員1名退職する。 8月 第38回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団
平成 29 年	1月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、第3分団第3部（小幡）に配置する。

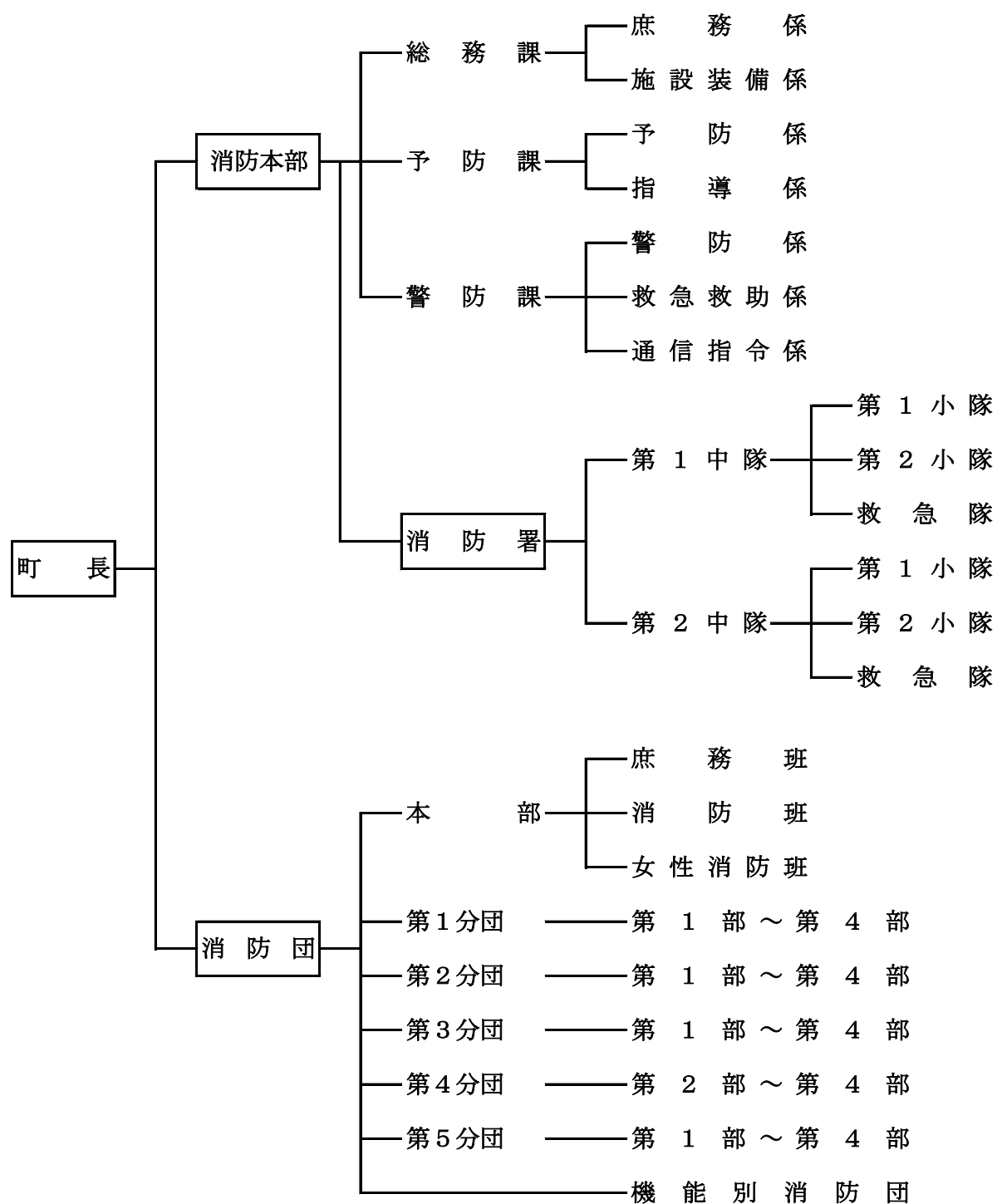
	2月 防衛省消防施設周辺施設設置事業により，消防ポンプ自動車（C D－I 型）1台を購入し，消防署に配置する。 3月 海老澤忠信氏，消防長退任する。 松本清次氏，消防団長退任する。 消防吏員2名退職する。 茨城県防災航空隊から消防吏員1名帰任する。 4月 塙隆一氏，消防長に就任する。 井坂安男氏，消防団長に就任する。 江幡光陽氏，次長兼消防署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 6月 第44回茨城県消防救助技術大会，引揚救助の部で準優勝する。 救急救命士1名任命する。 7月 第46回消防救助技術関東地区指導会，引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 山梨県消防学校） 8月 第39回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第2部（鳥羽田）
平成 30 年	2月 再編交付金事業により，消防ポンプ自動車C D－I 型2台を購入し，第2分団第3部（南川又）第5分団第3部（下石崎）に配置する。 3月 嘱託職員1名退職する。 4月 消防吏員1名採用する。 6月 第45回茨城県消防救助技術大会，引揚救助の部で準優勝する。 7月 第47回消防救助技術関東地区指導会，引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 東京消防庁夢の島訓練場） 8月 第40回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第2部（駒場） 自治体消防制度70周年記念茨城県大会において，茨城県知事より，市町村優良機関として茨城町消防団が表彰される。

総務



掲載：平成31年出初め式 消防団放水

1. 組織及び機構



2. 消防本部・消防署事務分掌

課 名	係 名	事 務 分 掌
総務課	庶務係	1 条例，規則等に関する事。 2 消防事務の企画及び総合調整に関する事。 3 会議に関する事。 4 公印の管守に関する事。 5 消防用財産の管理及び処分に関する事。 6 消防用施設の設置に関する事。 7 消防職員の任免，賞罰その他身分に関する事。 8 人事給与に関する事。 9 消防団に関する事。 10 自主防災組織に関する事。 11 公務災害補償に関する事。 12 消防予算及び経理に関する事。 13 消防の相互応援に関する事。 14 給貸与品，備品及び消耗品に関する事。 15 消防統計に関する事。 16 職員の福利厚生に関する事。 17 文書の収受及び発送に関する事。 18 その他，他の主管に属しない事。
	施設装備係	1 消防機械の配置，点検，整備及び管理に関する事。 2 消防車等の検閲及び検査に関する事。 3 庁舎の管理営繕に関する事。 4 各種使用燃料に関する事。 5 機関員の技術養成訓練に関する事。 6 交通事故に関する事。
予防課	予防係	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物の査察及び指導に関する事。 3 防火思想の普及に関する事。 4 民間防火組織に関する事。 5 危険物安全協会に関する事。 6 その他危険物等に関する事。
	指導係	1 建築確認等の同意に関する事。 2 消防用設備等に関する事。 3 防火対象物の査察及び指導に関する事。 4 防火管理者に関する事。 5 その他火災予防に関する事。

課 名	係名	事 務 分 掌
警防課	警防係	1 職員及び消防団の教養訓練に関する事。 2 消防計画及び警防計画に関する事。 3 水防計画及び地域防災計画に関する事。 4 総合防災訓練及び各種演習訓練に関する事。 5 消防技術の調査及び研究に関する事。 6 火災原因及び損害の調査に関する事。 7 火災統計に関する事。 8 消防水利の計画及び管理に関する事。 9 自主防災組織の指導に関する事。 10 その他警防に関する事。
	救急救助係	1 救急救助訓練等の計画及び実施に関する事。 2 救急救助統計に関する事。 3 職員の安全管理に関する事。
	通信指令係	1 消防通信及び通信設備等に関する事。 2 いばらき消防指令センターに関する事。 3 防災行政無線局に関する事。 4 気象観測及び警報等消防信号に関する事。 5 その他通信指令に関する事。
消 防 署		1 水火災等の警防活動に関する事。 2 防火対象物等の警防査察に関する事。 3 消防用地理，水利の調査保全の実施に関する事。 4 消防操法及び規律訓練等の実施並びに指導に関する事。 5 救急救助活動に関する事。 6 救急救助訓練等の実施に関する事。 7 救急救助資機材の保全運用に関する事。 8 救急医療情報センター等との連絡調整に関する事。 9 教養の実施に関する事。 10 消防用機械器具の運用並びに維持管理に関する事。 11 各種注意報及び警報の発令並びに伝達に関する事。 12 各種届出の受理並びに指導に関する事。 13 各種災害の原因，損害等の調査に関する事。 14 消防通信及び無線の運用に関する事。 15 火災予防広報の実施に関する事。 16 緊急車両の運用に関する事。 17 庶務に関する事。 18 庁舎等施設及び備品の保全管理に関する事。 19 その他特命事項に関する事。

3. 予算関係

(1) 町予算と消防予算比較

単位：千円

	歳出		消防予算内訳				
	一般会計 予 算	消防費 予 算	常 備 消防費	非常備 消防費	施設費	水防費	比率
平成27年度	11,183,000	457,873	363,871	47,957	45,693	352	4.1%
平成28年度	10,868,000	449,912	326,044	62,266	61,378	224	4.1%
平成29年度	10,961,000	392,867	320,505	47,021	24,749	592	3.6%
平成30年度	11,752,000	425,593	330,503	45,630	49,333	127	3.6%
平成31年度	12,762,000	439,301	337,938	38,090	63,125	148	3.4%

(2) 人口及び世帯当たりの消防費

単位：円

年度	種別	人口1人当たり		1世帯当たり	
	区分	一般会計予算	消防費予算	一般会計予算	消防費予算
平成27年度		332,738	13,619	891,004	36,470
平成28年度		325,535	14,073	858,180	37,100
平成29年度		338,418	12,376	957,376	35,012
平成30年度		358,741	12,992	910,020	32,956
平成31年度		342,025	13,524	852,516	33,709

4. 職員関係

(1) 消防職員の定数及び実員

平成31年4月1日現在

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	その他 の職員	合計
定 員							52		52
実 員	1	6	13	8	13	10	51		51

(2) 消防職員配置状況

配置 階級	消 防 本 部						消 防 署				
	消 防 長	次 長	総 務 課	予 防 課	警 防 課	計	署 長	隔 日			計
								副 署 長	第 一	第 二	
消 防 司 令 長	1					1					
消防司令		1 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (2)	6 (3)	1	2			3
消 防 司 令 補			4 (1)	2 (1)	7 (6)	13 (8)			4	4	8
消防士長			2 (2)	3 (2)	3 (3)	8 (7)			3	4	7
消 防 副 士 長			3 (3)	3 (3)	7 (7)	13 (13)			7	6	13
消 防 士			5 (1)	2 (2)	3 (3)	10 (6)			3	3	6
そ の 他 の 職 員											
合 計	1	1 (0)	15 (8)	12 (8)	22 (21)	51 (37)	1	2	17	17	37

備考 () 内は本部兼務数

(3) 消防職員勤続年数調

平成31年4月1日現在

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
1年未満						3		3
1年以上5年未満					1	7		8
5年以上10年未満				4	12			16
10年以上15年未満			3	3				6
15年以上20年未満			2	1				3
20年以上25年未満		1	4					5
25年以上30年未満		2	4					6
30年以上	1	3						4
合計	1	6	13	8	13	10		51

(4) 消防職員階級別年齢調

階級 年齢	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上	計
消防司令長								1	1
消防司令						1	4	1	6
消防司令補					5	5	2	1	13
消防士長			1	6	1				8
消防副士長		4	7	2					13
消防士		7	3						10
その他の職員									
合計	0	11	11	8	6	6	6	3	51

(5) 消防職員特殊技能資格取得状況

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
自 免 動 車 許 可	大型自免		3	10	1	1			15
	中型自免		1	1	7	7			16
	〃8t未満	1	2	2					5
	準中型自免						1		1
	〃5t未満					5	8		13
	普通自免						1		1
	大型特自免			4					4
特殊無線技師		1	6	13	8	13	6		47
危険物取扱免(乙4)			1	4	8	13	7		33
2級小型船舶操縦士			3	6	1	1			11
合計		2	16	40	25	40	23		146

5. 消防団関係

平成31年4月1日現在

(1) 消防団員定数及び実員

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機能別	計
定 数	1	2	10	10	20	40	202	10	295
実 員	1	2	10	10	20	40	202	10	295

(2) 消防団員配置表

階級 名称		団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
本 部 (女性部)		1	2	5	5				13
						(1)	(2)	(13)	(16)
第1分団	第1部					1	2	10	53
	第2部					1	2	10	
	第3部			1	1	1	2	9	
	第4部					1	2	10	
第2分団	第1部					1	2	10	54
	第2部					1	2	10	
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	10	
第3分団	第1部					1	2	10	54
	第2部					1	2	10	
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	10	
第4分団	第2部					1	2	10	41
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	10	
第5分団	第1部					1	2	10	54
	第2部					1	2	10	
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	10	
機 能 別								10	
合 計		1	2	10	10	20	40	212	295

(3) 消防団員報酬及び各種手当

1) 団員階級別報酬

平成31年4月1日現在

階 級	年 報 酬
団 長	83,000 円
副 団 長	65,000 円
分 団 長	45,000 円
副 分 団 長	40,000 円
部 長	30,000 円
班 長	25,000 円
団 員	23,000 円
機 能 別	10,000 円

2) 各種手当

- ① 火災警戒出場手当 1回につき 1人 1,000円
- ② 訓練手当 1回につき 1人 1,100円
- ③ 機関員手当 1人年額 3,700円

(4) 消防団員年齢別調

平成31年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副 分 長	部 長	班 長	団 員	計
18歳以上 20歳未満							1	1
20歳以上 25歳未満							9	9
25歳以上 30歳未満						4	20	24
30歳以上 35歳未満					7	8	48	63
35歳以上 40歳未満					8	18	56	82
40歳以上 45歳未満			1	3	3	7	48	62
45歳以上 50歳未満			3	4	2	2	20	31
50歳以上 55歳未満			2	3			1	6
55歳以上	1	2	4			1	9	17
合計	1	2	10	10	20	40	212	295

6. 機械装備関係

(1) 消防本部及び消防署の機械一覧表

平成31年4月1日現在

種別 所属	車 名	艀装社名	年式	ポンプ型式 及び 水 槽	摘 要
消防本部	日産 キャラバン (再編交付金事業)	茨城日産	21		指 揮 車
消防本部	日産 ADバン (県貸与品)	茨城日産	27		原子力広報車
消防本部	日産 ウイングロード (危険物安全協会寄贈)	茨城日産	9		防 災 車
消防本部	日産 クリッパー (再編交付金事業)	茨城日産	27		防 災 広 報 車
消防本部	日産 セドリック	茨城日産	15		公 務 車
消防本部	トヨタ ハイエース	茨 城 ト ヨ タ	10		公 務 車
消 防 署	日野 レンジャー (防衛庁基地対策事業)	モ リ タ	20	A-2級2段タービン 1,500リットル	水槽付ポンプ車
消 防 署	日野 デュトロ (百里飛行場周辺消防施設設置助成事業)	モ リ タ	29	A-2級1段ボリュートポンプ 600リットル	泡消火システム付 ポンプ車
消 防 署	三菱 ファイター (防衛庁基地対策事業)	モ リ タ	13		救 助 工 作 車
消 防 署	トヨタ ハイメディック (百里飛行場周辺消防施設設置助成事業)	茨 城 ト ヨ タ	28		高規格救急車
消 防 署	トヨタ ハイメディック	茨 城 ト ヨ タ	31		高規格救急車
消 防 署	日産 パラメディック (リサイクル研究開発促進交付金)	茨城日産	20		高規格救急車
消 防 署	三菱 キャンター (再編交付金事業)	日立モーター タース	24		資 機 材 搬 送 車

(2) 消防本部及び消防署機械器具一覧表

1) 消防車

区分		車両等	水槽付 ポンプ車	ポンプ車	備 品	計
消防 用 資 器 材	バール		1	1		2
	ワイヤーカッター		4	3		7
	ジェットシューター		4	4		8
	スタンドパイプ		1	1		2
	3連はしご (チタン)			1		1
	3連はしご (ステンレス)		1			1
	破壊オノ		1	1		2
	消火器		1	1		2
	泡消火剤		3	3	16	22
	ホースカー		1	1		2
	可搬ポンプ				1	1
	空気呼吸器 (8ℓ)		3	3	4	10
	空気ボンベ (8ℓ)		6	5	16	27
	ジャッキ (3t)		1		1	2
	電燈 (水防用)				5	5
	T R メガホン		1	1	9	11
	充電器				1	1
	蜂用防護服				2	2
	エアーフォーム管鎗			2		2
	二又分岐金具		1	2		3
	ガス検知器		1			1
	発電機		1	1	2	4
	投光器		1	1	2	4
	強力ライト		1	1	1	3
	ワイヤーロープ		5			5
	ファイヤーファインダー		1			1
	作業用ロープ		5	8	5	18
	ライトボーイ				3	3
	インパルス銃		1			1

2) 救急車

区分		車両等	救急車 (1号)	救急車 (2号)	救急車 (予備車)	備品	計
救 急 用 資 器 材	手動式人工蘇生器		1	1	1	1	4
	電動吸引器		1	1	1	1	4
	心肺蘇生用背板		1	1	1	1	4
	パルスオキシメーター		1	1	1		3
	血糖測定器		1	1	1		3
	A E D					2	2
	自動車電話		1	1	1		3
	観察用モニター		1	1	1		3
	半自動除細動器		1	1	1		3
	輸液ポンプ		1	1	1		3
	喉頭鏡セット		1	1	1	1	4
	人工呼吸器		1	1	1		3
	自動心臓マッサージ器		1	1			2
	聴診器		2	2	2	1	7
	スクープストレッチャー		1	1	1		3
	ロングバックボード		1	1	1	2	5
	小児用バックボード		1	1			2
	ネックカラー		2	2	2	3	9
	携帯用酸素		1	1	1		3
	バール		1	1	1		3
	消火器		1	1	1		3
	強力ライト		1	1	1		3

3) 救助工作車

区分	車両等	救助 工作車	備品	計
救 助 資 器 材	かぎ付きはしご (チタン製ワンタッチ式)	1		1
	三連はしご (ステンレス製キャスター付)	1		1
	金属製折りたたみはしご		1	1
	救命索発射銃	1		1
	サーバイバースリング	1		1
	平担架	1		1
	ロープー式	1		1
	カラビナ (ステンレス製)	20		20
	滑車	4		4
	油圧ジャッキ	2		2
	マンホール救助器具一式	1		1
	ガス溶断機	1		1
	チェーンソー	1		1
	鉄線カッター	1	4	5
	携帯用コンクリート破損器具	1		1
	空気呼吸器 (ボンベ保護カバー)	4	10	14
	空気呼吸器予備ボンベ	8	35	43
	耐電手袋	5		5
	安全帯	5		5
	防塵メガネ	5		5
	携帯警報器	5		5
	防毒マスク	5		5
	携帯投光器	2		2
	携帯無線	1		1
	応急措置用セット	1		1
	救命浮輪	2		2
	救命ボート (アルミ製折りたたみ式)	1		1
	救命ボート (ゴムボート)		1	
	船外機	1	1	2
	バスケット担架	1	1	2
	車両移動器具	4	6	10
	マット型空気ジャッキ一式	1		1
	大型油圧切断機一式	1		1
	空気切断機	1		1
	電動ハンマードリル	1		1
	酸素呼吸器	3		3
	簡易呼吸器	2		2
	化学防護服	4		4
	耐電衣	2		2
	耐電ズボン	2		2
	耐電長靴	2		2
	緩降機	1		1
	玉掛け用繊維ベルト (7・3・2m)	6		6
	重量物搬送リアカー	1		1
	縛帯一式	1		1

(3) 消防団の消防機械一覧表

種別 所属			車 名	機装社名	年式	ポンプ形式
第一分団	1	長岡	日野 デュトロ	モリタ	20	A-2級 2段タービン
	2	前田	日産 デュトロ	モリタ	25	A-2級 2段タービン
	3	常井	トヨタ ダイナ	シバウラ	26	B-2級 1段タービン
	4	小鶴	いすゞ エルフ	モリタ	14	A-2級 2段タービン
第二分団	1	下土師	日野 デュトロ	モリタ	22	A-2級 2段タービン
	2	野曾	日野 デュトロ	モリタ	27	A-2級 2段タービン
	3	南川又	日野 デュトロ	モリタ	30	A-2級 2段タービン
	4	奥谷	トヨタ ダイナ	シバウラ	26	B-2級 1段タービン
第三分団	1	秋葉	いすゞ エルフ	モリタ	14	A-2級 2段タービン
	2	鳥羽田	日野 デュトロ	モリタ	20	A-2級 2段タービン
	3	小幡	日野 デュトロ	モリタ	29	A-2級 2段タービン
	4	下雨ヶ谷	日野 デュトロ	トーハツ	28	B-2級 1段タービン
第四分団	2	駒場	いすゞ エルフ	シバウラ	16	B-2級 1段タービン
	3	宮ヶ崎	日野 デュトロ	モリタ	21	A-2級 2段タービン
	4	海老沢	いすゞ エルフ	モリタ	10	A-2級 2段タービン
第五分団	1	中石崎	日野 デュトロ	モリタ	24	A-2級 2段タービン
	2	上石崎	いすゞ エルフ	シバウラ	16	B-2級 1段タービン
	3	下石崎	日野 デュトロ	モリタ	30	A-2級 2段タービン
	4	若宮	いすゞ エルフ	モリタ	11	A-2級 2段タービン

(4) 消防ホース保有量調

所属別 区分	消 防 署	第 一 分 団	第 二 分 団	第 三 分 団	第 四 分 団	第 五 分 団	合 計
	普 通 ホ ー ス	326	110	88	123	89	90

(5) 消防車両更新基準

車両名等	常備	非常備
消防ポンプ自動車	15年	15年
水槽付消防ポンプ自動車	15年	15年
救急自動車	10年	
救助工作車	17年	
普通自動車(指令車, 広報車等)	13年	
小型動力ポンプ	15年	15年
小型動力ポンプ付積載車		15年
化学車	17年	

※ この基準表は、すべてを拘束するものではなく、車両の走行距離及び車両の総合状況等に応じて計画を見直す。

平成14年4月1日改正

防 予



掲載：こども消防体験での放水の様子

1. 危険物関係

(1) 危険物総数

平成31年3月31日現在

貯 蔵 所								取 扱 所						製造所	総計
屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般	小計		
13	13		28		17	3	74	36				14	50		124

(2) 数量別危険物製造所等の総数

製造所等の別 数量の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					総計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般	
5倍以下		9	6		15		15	1	1				6	53
5倍を超え 10倍以下		1	2		5			1	1				5	15
10倍を超え 50倍以下		2	4		8		2	1	11				3	31
50倍を超え 100倍以下		1							10					11
100倍を超え 150倍以下									5					5
150倍を超え 200倍以下			1						1					2
200倍を超え 1,000倍以下									7					7
合 計		13	13		28		17	3	36				14	124

(3) 危険物関係申請状況調

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

申請別 区分		許 可		検 査			承 認			認可	届 出				
		設 置	変 更	完 成	水 圧	水 張	仮 貯 蔵	仮 取 扱	仮 使 用	予 防 規 定	廃 止	譲 渡 引 渡	変 更 種 類 ・ 数 量	選 任 ・ 解 任 保 安 監 督 者	軽 微 な 変 更
製造所															
貯 蔵 所	屋 内	3		1										4	
	屋外タンク													1	
	屋内タンク														
	地下タンク														
	簡易タンク														
	移動タンク											1			
	屋 外														
取 扱 所	給 油	1	3	3					3					6	7
	第一種販売														
	第二種販売														
	移 送														
	一 般		1	1					1					1	
合 計		4	4	5					4			1		12	7

2. 建築同意関係

(1) 月別，用途別同意件数

月別 用途別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
(1)	イ													
	ロ						1							1
(2)	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
(3)	イ													
	ロ													
(4)					1				2					3
(5)	イ													
	ロ									1			1	2
(6)	イ										1			1
	ロ													
	ハ													
	ニ													
(7)							2							2
(8)														
(9)	イ													
	ロ													
(10)														
(11)														
(12)	イ		1	1	1	3								6
	ロ													
(13)	イ													
	ロ													
(14)		1									2			3
(15)		1												1
(16)	イ								1			1		2
	ロ		1			1								2
専用住宅														
併用住宅														
危険物施設														
そ の 他		1	1	2	2	3	1	5	4	1	2	1	5	28
合 計		3	3	3	4	7	4	5	7	2	5	2	6	51

(2) 月別、工事種別確認同意件数

面積：m²

月別	件数 面積	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模な 模 様 替	大規模な 修 繕	計
1	件 数	2	1						3
	面 積	289.33	51,998.15						52,287.48
2	件 数	3							3
	面 積	534.02							534.02
3	件 数	3							3
	面 積	5,535.05							5,535.05
4	件 数	4							4
	面 積	490.43							490.43
5	件 数	7							7
	面 積	9,668.97							9,668.97
6	件 数	3						1	4
	面 積	1,735.31						278.72	2,014.03
7	件 数	5							5
	面 積	362.56							362.56
8	件 数	7							7
	面 積	3,346.35							3,346.35
9	件 数	2							2
	面 積	981.37							981.37
10	件 数	5							5
	面 積	2,273.66							2,273.66
11	件 数	2							2
	面 積	177.76							177.76
12	件 数	6							6
	面 積	729.76							729.76
計	件 数	49	1					1	51
	面 積	26,124.57	51,998.15					278.72	78,401.44

3. 防火対象物関係

(1) 防火対象物数

平成31年3月31日現在

用 途 別			区 分	法第8条該当 防火対象物	消防用設備等 を必要とする 防火対象物
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場			
	ロ	公会堂、集会場		40	40
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ			
	ロ	遊技場、ダンスホール		2	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等			
(3)	イ	待合、料理店		1	1
	ロ	飲食店		5	11
(4)		百貨店、マーケット、その他物品販売店舗		34	50
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所		4	8
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅		3	86
(6)	イ	病院、診療所、助産所		11	17
	ロ	社会福祉施設等(主に入所施設)		19	25
	ハ	社会福祉施設等(主に通所施設)		10	29
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		5	6
(7)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学		9	47
(8)		図書館、博物館、美術館			
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場		1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場			
(10)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場			
(11)		神社、寺院、教会		1	1
(12)	イ	工場、作業場		17	178
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場			21
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
(14)		倉庫		4	122
(15)		前各項に該当しない事業所		20	176
(16)	イ	特定用途部分が存する複合用途防火対象物		6	15
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		2	7
(16の2)		地下街			
(16の3)		準地下街			
(17)		重要文化財、史跡等の建造物			
(18)		延長50メートル以上のアーケード			
(19)		市町村長の指定する山林			
(20)		自治省令で定める舟車			
合 計				194	844

4. 諸届出関係

(1) 諸届出処理状況

届出別 月別	防火 管理者 届出	消 防 計 画 届 出	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス ・ 届 出	液 化 石 油 ガ ス 届 出	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	炉 ・ か ま ど ・ ボ イ ラ ー 等 届 出	設 置 届 出	発 電 ・ 変 電 ・ 蓄 電 池 ・ 届 出	燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届 出	水 素 ガ ス を 充 填 す る 届 出	気 球 の 設 置 届 出	火 災 と 紛 ら わ し い 行 為 の 届 出	煙 火 打 上 げ 仕 掛 け 届 出	催 物 開 催 届 出	水 道 断 減 水 届 出	道 路 工 事 届 出	露 店 等 の 開 設 届 出	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届 出	計
1	2	1	1											26				9	1		40
2	2	2			12	5	4			1				14	1			9	4	1	55
3	2	2			17	12	2	2		3				10				4	1		55
4	2	5	2		5	2	2							4				9		1	32
5	3	3			3	6	1							2	1			3	2		24
6	14	17	3		7	4	3	2						3				9	2	2	66
7	2	2			27	3	10	1		1				2	6			14	9		77
8	4	2			8	2	3								3			8	3	1	34
9	1	2	1		11	3	2			1				4	2			17	2		46
10	4	2	1		10	8	4			3				7	1			9	4		53
11	1	1	1		2		1			2				9	1			8	4	1	31
12	3	3	5		22	1	3			1				14	2			9	1	1	65
合計	40	42	14		124	46	35	5		12				95	17			108	33	7	578

防 警



掲載：茨城県救助技術大会

1. 火災関係

(1) 平成30年の火災概要

件数	月 日	出火時分	鎮火時分	火災種別	用途別	出火場所	程度	焼損面積
1	1月21日	19:40	23 日 17:17	その他		小幡		
2	1月30日	10:20	12:10	建物	住宅	下石崎	全焼	118.17㎡
3	2月1日	18:25	19:48	車両		長岡	全焼	
4	2月16日	0:20	2:00	建物	住宅	城之内	全焼	97.82㎡
5	2月18日	14:05	14:11	その他		蕎麦原		
6	3月4日	9:55	11:37	建物	住宅	上石崎	全焼	43.06㎡
7	3月17日	13:40	15:11	建物	住宅	上石崎	全焼	137.87㎡
8	4月8日	20:20	20:21	建物	共同住宅	桜の郷	ぼや	0.6㎡
9	4月13日	11:55	14:28	その他		馬渡		
10	5月22日	14:40	15:10	その他		城之内		3.6㎡
11	5月22日	18:00	18:30	その他		南栗崎		125㎡
12	6月7日	10:40	11:10	その他		木部		
13	8月25日	21:00	21:45	建物	納屋	海老沢	部分焼	42㎡
14	11月29日	16:40	30 日 10:00	その他		網掛		150㎡

(2) 出火原因別火災発生状況

出火原因 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
たばこ													0
たき火													0
コンロ				1									1
火遊び													0
風呂・かまど													0
ストーブ													0
電灯等の配線		1				1							2
放火・放火の疑い													0
落雷													0
その他	2	2	2	1	2			1			1		11
合 計	2	3	2	2	2	1	0	1	0	0	1	0	14

(3) 用途別火災発生状況

用途 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建 物	住 宅	1	1	2									4
	併用住宅												0
	共同住宅				1								1
	店 舗												0
	事 務 所												0
	工 場												0
	作 業 所												0
	倉 庫												0
	物置・納屋							1					1
	風 呂 場												0
	校舎・体育館												0
	そ の 他												0
林 野													0
車 両			1										1
そ の 他		1	1		1	2	1				1		7
合 計		2	3	2	2	2	1	0	1	0	0	1	14

(4) 時間別火災発生状況

時間 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
0～1		1											1
1～2													0
2～3													0
3～4													0
4～5													0
5～6													0
6～7													0
7～8													0
8～9													0
9～10			1										1
10～11	1					1							2
11～12				1									1
12～13													0
13～14			1										1
14～15		1			1								2
15～16													0
16～17											1		1
17～18													0
18～19		1			1								2
19～20	1												1
20～21				1									1
21～22								1					1
22～23													0
23～24													0
不明													0
計	2	3	2	2	2	1	0	1	0	0	1	0	14

(5) 火災覚知状況

月 覚知別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
119 専用	固 定 NTT			1										1
	固定 NTT以外			1										1
	携 帯 電 話	2	1		2	2	1		1			1		10
加入電話	固 定 電 話													0
	携 帯 電 話		1											1
駆 け 付 け														0
事 後 聞 知			1											1
そ の 他														0
合 計		2	3	2	2	2	1	0	1	0	0	1	0	14

(6) 過去5年間の火災発生状況

区分 年		火災総件数 (件)	建物焼損面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	火災損害額 (千円)
平成26年		24	1,138	0	28,182
平成27年		19	395	0	32,146
平成28年		23	233	106	7,911
平成29年		14	254	0	20,264
平成30年		14	440	0	9,048

2. 消防水利関係

平成31年3月31日現在

種別 \ 地区		長岡	川根	上野合	沼前	石崎	計
消火栓	基準	137	101	78	60	47	423
	基準外	61	57	59	46	37	260
防火水槽	公設	40m ³ 以上	41	68	30	25	191
		20m ³ 以上	4	8	4	7	27
		40m ³ 未満					
		20m ³ 未満	48	45	55	48	236
	私設	40m ³ 以上	46	5	16	4	79
		40m ³ 未満					0
その他	河川					3	3
	プール		2	3	1	1	9
	湖川						0
	溜池		1	5	2	1	10

3. 救急関係

(1) 救急業務の実施状況

救急活動状況	出場件数	1,624 件	救急隊員	救急救命士	18 人
	取扱件数	1,496 件		救急科	32 人
	不搬送	128 件		救急Ⅱ課程	1 人
	搬送人員	1,522 人		救急Ⅰ課程	0 人
	出場延人員	5,012 人	出場車状況	救急自動車数	3 台
				走行距離	45,137.6 km
				平均走行距離	27.4 km

(2) 過去10年間の救急の流れ

年	種別 件数 人員	交 通	急 病	一般負傷	その他	計
平成21年	出 場 件 数	169	664	170	144	1,147
	搬 送 人 員	197	630	155	133	1,115
平成22年	出 場 件 数	178	716	142	180	1,216
	搬 送 人 員	182	649	135	162	1,128
平成23年	出 場 件 数	202	739	164	205	1,310
	搬 送 人 員	210	674	157	184	1,225
平成24年	出 場 件 数	186	865	207	226	1,484
	搬 送 人 員	202	807	199	204	1,412
平成25年	出 場 件 数	197	834	147	196	1,374
	搬 送 人 員	215	781	140	175	1,311
平成26年	出 場 件 数	193	898	169	201	1,461
	搬 送 人 員	193	844	165	179	1,381
平成27年	出 場 件 数	217	887	209	223	1,536
	搬 送 人 員	223	833	199	203	1,458
平成28年	出 場 件 数	217	988	200	194	1,599
	搬 送 人 員	228	893	193	178	1,492
平成29年	出 場 件 数	201	974	195	239	1,609
	搬 送 人 員	212	910	175	214	1,511
平成30年	出 場 件 数	151	1,034	232	207	1,624
	搬 送 人 員	153	964	225	180	1,522

(3) 月別救急出場状況

月別	事故種別 件数 人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
1	出場件数				19			22		1	114	12			2	170
	搬送人員				20			20			107	12			2	161
2	出場件数				8			17		1	91	19			4	140
	搬送人員				5			17		0	79	19			1	121
3	出場件数				8	3	1	16		2	83	10			2	125
	搬送人員				8	2	1	15		2	74	10			0	112
4	出場件数				11	3		12			78	11			1	116
	搬送人員				12	3		12			77	11			0	115
5	出場件数				10			21		4	74	7			2	118
	搬送人員				10			20		3	68	7			2	110
6	出場件数				14	1	1	23	1	2	69	13			1	125
	搬送人員				14	1	1	22	0	2	69	13			1	123
7	出場件数				10	1	1	25	1	1	93	10			4	146
	搬送人員				10	1	1	25	1	1	85	10			2	136
8	出場件数			1	7	2	2	27	1		101	9			2	152
	搬送人員			0	8	2	2	26	1		93	9			0	141
9	出場件数				20			14	1		77	11				123
	搬送人員				19			14	0		77	11				121
10	出場件数				11	2	2	16			70	11			2	114
	搬送人員				10	2	2	16			67	11			0	108
11	出場件数				13			16	1	3	83	11			1	128
	搬送人員				14			15	0	3	76	11			0	119
12	出場件数				20	2	2	23	1	2	101	13			3	167
	搬送人員				23	2	2	23	0		92	13			0	155
合計	出場件数			1	151	14	9	232	6	16	1,034	137			24	1,624
	搬送人員			0	153	13	9	225	2	11	964	137			8	1,522

(4) 時間別救急出場件数

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
時間別	0～2							9	1	2	48	2	62
	2～4				8			3			40		51
	4～6				4			4	2		51	1	62
	6～8				12	2		18		2	97	1	132
	8～10				18	2		31		1	140	20	212
	10～12				23	2	2	32	1	3	109	37	209
	12～14			1	21	2	2	26		2	97	30	181
	14～16				11	3		34		1	92	23	164
	16～18				27	3	2	29		1	103	19	184
	18～20				15		2	17	1	3	105	9	152
	20～22				9		1	19	1	1	86	11	128
	22～24				3			10			66	8	87
合計				1	151	14	9	232	6	16	1,034	161	1,624

(5) 現場到着所要時間

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	19	20	318	655	22	1,034
交通	1	4	48	86	12	151
一般負傷	4	7	78	140	3	232
その他	2	31	58	112	4	207
合計	26	62	502	993	41	1,624

(6) 収容所要時間

収容時間 救急種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急病 (うち管外)	()	13 ()	89 (8)	753 (433)	108 (82)	1 (1)	964 (524)
交通 (うち管外)	()	()	4 ()	118 (65)	31 (29)	()	153 (94)
一般負傷 (うち管外)	()	()	24 (3)	171 (102)	30 (22)	()	225 (127)
その他 (うち管外)	()	1 ()	29 (7)	121 (102)	27 (23)	2 (2)	180 (134)
合計 (うち管外)	()	14 ()	146 (18)	1,163 (702)	196 (156)	3 (3)	1,522 (879)

(7) 管内管外別救急搬送人員

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
管内に居住を有する者				73	1	3	193	1	10	833	64	1,178
管外に居住を有する者				80	12	7	32	1	1	125	79	337
その他										6	1	7
合計				153	13	10	225	2	11	964	144	1,522

*その他の区分とは住所が判明しない者をいう。

4. 気象関係

警報・注意報発表回数

月別 種類		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
警 報	暴風		1						1	1				3
	大雨								1	1				2
	洪水													
	大雪	1												1
	波浪													
	計	1	1						2	2				6
注 意 報	強風	7	6	8	6	4	2	2	4	4	4	4	3	54
	大雨			1				5	5	5	1	1		18
	波浪													
	洪水										1			1
	大雪	2	2											4
	雷	1	1	5	4	7	7	19	15	8	6	2	2	77
	乾燥	4	2	3	3	1							2	15
	濃霧	7	3	6	12	11	15	15	20	10	9	8	4	120
	霜			1	5	1					2	16		25
	低温	18	13										6	37
	着雪	1	1											2
	高潮													
	風雪	1	1											2
	計	41	29	24	30	24	24	41	44	27	23	31	17	355
火災気象通報		29	21	14	9	8	2		4	5		6	9	107
合 計		71	51	38	39	32	26	41	50	34	23	37	26	468

5. 消防無線関係

(1) 消防用超短波無線電話装置

呼び出し名称	配 置	種 別	空中線電力	備 考
しょうぼうえんかくいばらきまち	指令室	基地局	2.5W	遠隔局
いばらきまちたんく 1	署	移動局（車載）	5W	水槽付きポンプ車
いばらきまちぼんぷ 1	〃	〃	〃	泡消火システム付 ポンプ車
いばらきまちきゅうじょ 1	〃	〃	〃	救助工作車
いばらきまちこうほう 1	本部	〃	〃	広報車
いばらきまちしき 1	署	〃	〃	指揮車
いばらきまちきゅうきゅう 1	〃	〃	〃	高規格救急車
いばらきまちきゅうきゅう 2	〃	〃	〃	高規格救急車
いばらきまちきゅうきゅう 3	〃	〃	〃	高規格救急車
いばらきまち 2 0 1	〃	移動局（携帯）	2W	
いばらきまち 2 0 2	〃	〃	〃	
いばらきまちたんく 1 0 1	〃	〃	〃	
いばらきまちたんく 1 0 2	〃	〃	〃	
いばらきまちぼんぷ 1 0 1	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうじょ 1 0 1	〃	〃	〃	
いばらきまちこうほう 1 0 1	本部	〃	〃	
いばらきまちしき 1 0 1	署	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう 1 0 1	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう 1 0 2	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう 1 0 3	〃	〃	〃	
いばらきまちこてい 1	〃	移動局	2W	指令受信用
いばらきまち 6 0 1	〃	移動局（可搬）	〃	

(2) 消防団超短波無線電話装置

呼び出し名称	種 別	空中線電力	配 置
いばらきだん11	陸上移動局	5W	第1分団第1部
いばらきだん12	陸上移動局	5W	第1分団第2部
いばらきだん13	陸上移動局	5W	第1分団第3部
いばらきだん14	陸上移動局	5W	第1分団第4部
いばらきだん21	陸上移動局	5W	第2分団第1部
いばらきだん22	陸上移動局	5W	第2分団第2部
いばらきだん23	陸上移動局	5W	第2分団第3部
いばらきだん24	陸上移動局	5W	第2分団第4部
いばらきだん31	陸上移動局	5W	第3分団第1部
いばらきだん32	陸上移動局	5W	第3分団第2部
いばらきだん33	陸上移動局	5W	第3分団第3部
いばらきだん34	陸上移動局	5W	第3分団第4部
いばらきだん42	陸上移動局	5W	第4分団第2部
いばらきだん43	陸上移動局	5W	第4分団第3部
いばらきだん44	陸上移動局	5W	第4分団第4部
いばらきだん51	陸上移動局	5W	第5分団第1部
いばらきだん52	陸上移動局	5W	第5分団第2部
いばらきだん53	陸上移動局	5W	第5分団第3部
いばらきだん54	陸上移動局	5W	第5分団第4部
いばらきだん101	〃（携帯）	2W	団本部
いばらきだん102	〃（携帯）	2W	〃
いばらきだん103	〃（携帯）	2W	〃
いばらきだん201	〃（携帯）	2W	〃